

目 次

第 30 号記念巻頭言

日本 18 世紀学会の思い出 海老澤 敏 1

第 36 回大会研究報告要旨

自由論題

想像、反省、発見

——Ch. ヴォルフの哲学における技術の位置づけをめぐる——

大熊 洋行 3

日ギャラント様式と対位法

——18 世紀前半におけるその分類の可否をめぐる——

松原 薫 5

レクチャー・コンサート

「17～18 世紀の邦楽音楽」

会場：軻シーサイドホテル

演奏：占部三龍氏（尺八）

岡田明子氏（琴）

福田歌寿子氏（琴）

光成歌能子氏（琴）

共通論題 (1) 「18 世紀の海の道」

コーディネーター : 高橋博巳

司会 : 堀田誠三・高橋博巳

堀田誠三・高橋博巳 10

趣旨説明

ヘルダー『旅日記』(1769) とバルト海

嶋田洋一郎 14

東アジアにおけるカトリック受容史の比較

鄭炳説 15

加藤清正のオランカイ、源義経の北高麗

金時徳 17

琉球国使節渡来の残したもの

横山 學 19

共通論題 (2) 「啓蒙とフィクション」

コーディネーター・司会 : 斉藤 渉

趣旨説明	斉藤 渉	22
フィクション概念をめぐる最近の理論的言説について	久保 昭博	23
ゴルドーニ作品における「戦争」	大崎 さやの	24
古典確率論の描く人間像と哲学的フィクションの関係	隠岐 さや香	27
名誉革命とフィクション：ダニエル・デフォーの場合	武田 将明	28

論文

ジェームズ・プラムトリが見たピクチャレスク美学 ——『ザ・レイカーズ』(1798)を読む——	近藤 亮介	29
---	-------	----

書評

小特集 (1) : ルソー生誕 300 年

永見文雄・三浦信孝・川出良枝編『ルソーと近代—ルソーの回帰・ルソーへの回帰 ジャン＝ジャック・ルソー生誕 300 周年記念国際シンポジウム』 ブリュノ・ベルナルディ著、三浦信孝編『ジャン＝ジャック・ルソーの政治哲学： 一般意志・人民主権・共和国』	齋藤 山人	44
--	-------	----

Jean-Jacques Rousseau, <i>Œuvres complètes</i> , Édition thématique du Tricentenaire sous la direction de Raymond Trousson et Frédéric S. Eigeldinger Volume XII: <i>Écrits sur la musique</i>	馬場 朗	46
---	------	----

サン＝ピエール著、本田裕志訳『永久平和論』(全2巻)	井柳 美紀	48
----------------------------	-------	----

橋本周子『美食家の誕生 グリモと〈食〉のフランス革命』	大畑 夏子	49
-----------------------------	-------	----

Fumie Kawamura, <i>Diderot et la chimie: Science, pensée et écriture</i>	大橋 完太郎	51
--	--------	----

小特集 (2) : 英国十八世紀文学叢書

サミュエル・リチャードソン著、原田範行訳『パミラ、あるいは淑徳の報い』	一ノ谷 清美	52
ホレス・ウォルポール著、千葉康樹訳『オトランド城』／エドモンド・バーク著、大河内昌訳『崇高と美の起源』 Paul Smethurst, <i>Travel Writing and the Natural World, 1768-1840</i>	大石 和欣	54

オラウダ・イクイアーノ著、久野陽一訳『アフリカ人、イクイアーノの生涯の興味深い物語』	西山 徹	57
小林章夫編訳『エロティカ・アンソロジー』	久野 陽 一	58
David Vallins, Kaz Oishi and Seamus Perry (eds.), <i>Coleridge, Romanticism and the Orient</i>	大河内 昌	60
富樫剛編『名誉革命とイギリス文学—新しい言説空間の誕生』	原 田 範 行	62
日本ジョンソン協会編『十八世紀イギリス文学研究 第5号共鳴する ^{ワード} 言葉と ^{ワールド} 世界』	落 合 一 樹	63
Srinivas Aravamudan, <i>Enlightenment Orientalism: Resisting the Rise of the Novel</i>	武 田 将 明	65
Eugenia Zuroski Jenkins, <i>A Taste for China: English Subjectivity and the Prehistory of Orientalism</i>	若 澤 佑 典	67
展覧会評		
「雪景色の系譜 その表現の歩み 近世から近代まで」展	橋 本 寛 子	70
「キャプテン・クック探検航海と『バンクス花譜集』」展	近 藤 亮 介	72
小特集：18世紀イギリス風景画の展開		
<i>Richard Wilson and the Transformation of European Landscape Painting A Dialogue with Nature: Romantic Landscapes from Britain and Germany Sites of Inspiration: Tintern Abbey and Llanthony Priory</i>	出 羽 尚	74
「ルーヴル美術館展 日常を描く—風俗画にみるヨーロッパ絵画の真髄」 「ロイヤル・アカデミー展—華麗なる英国美術の殿堂 ターナーからラファエル前派まで」	田 中 佳	77
会員業績		80
編集後記		83
会則		84
役員選出に関する細則		85
投稿規定		86